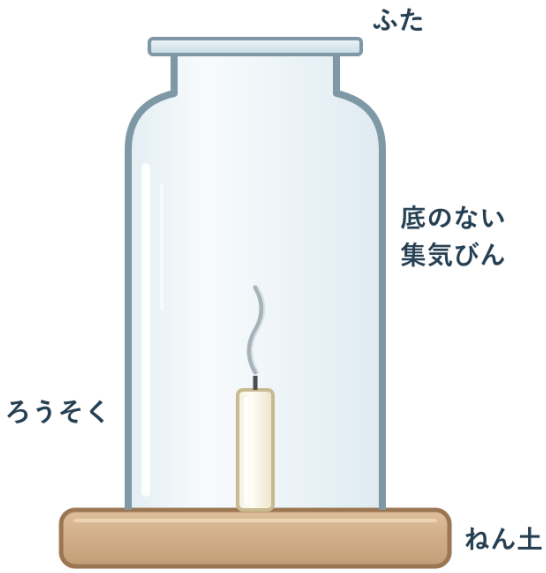
ろうそくが燃え続けるための空気の入れかわり

びんの中のろうそくが燃え続けるのは、どんなときだろう。空気の動きに注目しよう

A ふたをする／下にすき間なし



→ すぐに消える

ふたをすると、空気が
入れかわらない

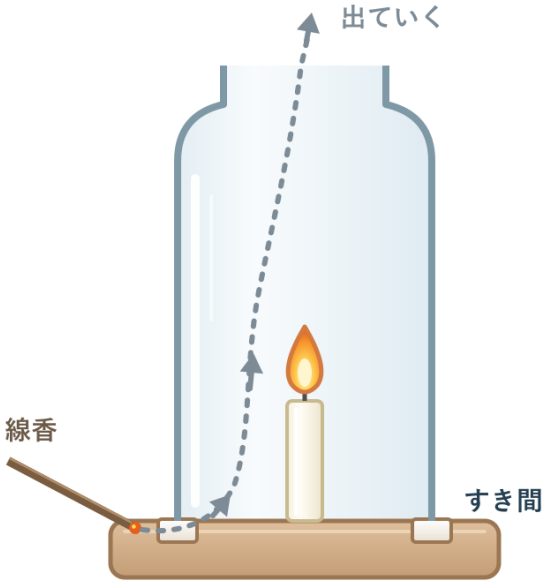
B ふたなし／下にすき間なし



→ しばらくすると消える（例）

上の口だけでは、空気が
入れかわりにくい

C ふたなし／下にすき間あり



→ 燃え続ける

けむりは下のすき間から入り、
上の口から出ていく

分かること　ろうそくが燃え続けるには、空気が入れかわり続けることが必要。

Cでは、新しい空気が下のすき間から入り、燃えたあとの空気が上の口から
出ていく。線香のけむりの動きで、空気の流れが分かる。

気をつけること

近くに燃えやすい物を置かず、保護眼鏡をかける。
びん・ふたは熱いので、すぐにさわらない。

※ 模式図。燃え方は例で、びんの大きさやろうそくの長さなどで変わる。完全な操作手順ではない。